

平成13年度当初予算 基本事務事業目的評価表

【基本事務事業名】 高規格道路ネットワークの形成事業(301)
【評価年月日】 平成12年12月6日
【担当部課名】 県土整備部道路整備課
【記入課名・課長名・電話】 道路整備課長 高杉 勲 059-224-2634

1 総合計画の政策体系上の位置づけ

政策 : (- 3) 交流基盤の整備

施策 : (1) 高速交通網の整備

総合計画の目標項目 : 高規格幹線道路網整備率

波及効果・副次的効果を及ぼすと考えられる施策 : 過疎地域・離島・半島地域などの振興
新規成長産業の振興と基盤整備

2 基本事務事業を巡る環境変化(過去、現状、将来)

県内高速道路について順次整備決定がなされ(第二名神・紀勢線)その事業に伴う用地の取得が大幅に増大している。計画されている高速道路を21世紀初頭を目標に整備することになっている。

3 基本事務事業の目的と成果

3-(1) 対象と意図(何をどういう状態にしたいのか)

「対象」 県民

「意図」 均衡ある県土の発展及び県民生活の利便性・安全性の向上を図る

3-(2) 成果指標名・成果指標式(総合計画の目標項目には*を付す)

高規格幹線道路網整備率*

高規格幹線道路供用延長

指標式 :

高規格幹線道路延長(298 km) ----- (基本計画、整備計画、施行命令、供用の各区間の延長計)

変更した場合の成果指標名・成果指標式

3-(3) 設定した成果指標に関する説明(指標動向に影響する要因、指標の有用性、設定の理由など)

基本計画に対する供用延長

3-(4) 結果(施策における2010年度の目標)

205 km

4 基本事務事業の評価

4-(1) 前年度(H11年度)における基本事務事業の結果評価

前年度に行った内容と成果

高規格幹線道路の整備促進を図るため、計画路線の道路、河川等の関連公共事業の各調査及び事業化区間の用地取得等を実施した。

また、高速道路の建設に伴い必要となる道路、河川等の公共施設の整備を進めた。

伊勢湾口道路

漁業調査、環境調査等の継続

東海南海連絡道

中部圏基本開発整備計画、近畿圏基本整備計画への位置づけ

中部圏基本開発整備計画、近畿圏基本整備計画への位置づけ

前年度に残った課題

高速道路と一体的に整備する必要があることから、道路公団、市町村と連携を図り、事業の着手時期等協議、調整を図ったが、その調整や用地取得における地元調整に時間を要した。

伊勢湾口道路

次期五計における事業化へ向けて調査の推進と要望活動

東海南海連絡道

次期五計における計画路線への格上げに向けての調査の推進

4-(2)本年度(H12年度)における基本事務事業の見込み評価

本年度行っている内容と本年度終了時に見込まれる成果

平成 11 年度と同様、高規格幹線道路の整備促進を図るため、計画路線の道路、河川等の関連公共事業の各調査及び事業化区間の用地取得等を実施する。

また、高速道路の建設に伴い、必要となる道路、河川等の公共施設の整備を進める。

伊勢湾口道路 漁業調査、環境調査の継続、環境調査の完了

東海南海連絡道 環境基礎調査、地質概査の完了

本年度残ると思われる課題

近畿自動車道名古屋神戸線

菰野～亀山 18k の施行命令

伊勢湾口道路

次期五計における事業化へ向けて調査の推進と要望活動

東海南海連絡道

次期五計における「計画路線」への格上げに向けて調査の推進と要望活動

5 基本事務事業の改革方向

今後、第二名神・四日市～菰野間並びに紀勢線・尾鷲～紀勢間が本格的に工事着手されることから、さらに一体的な対応を行い、円滑な用地取得業務、関連事業の実施に努める。

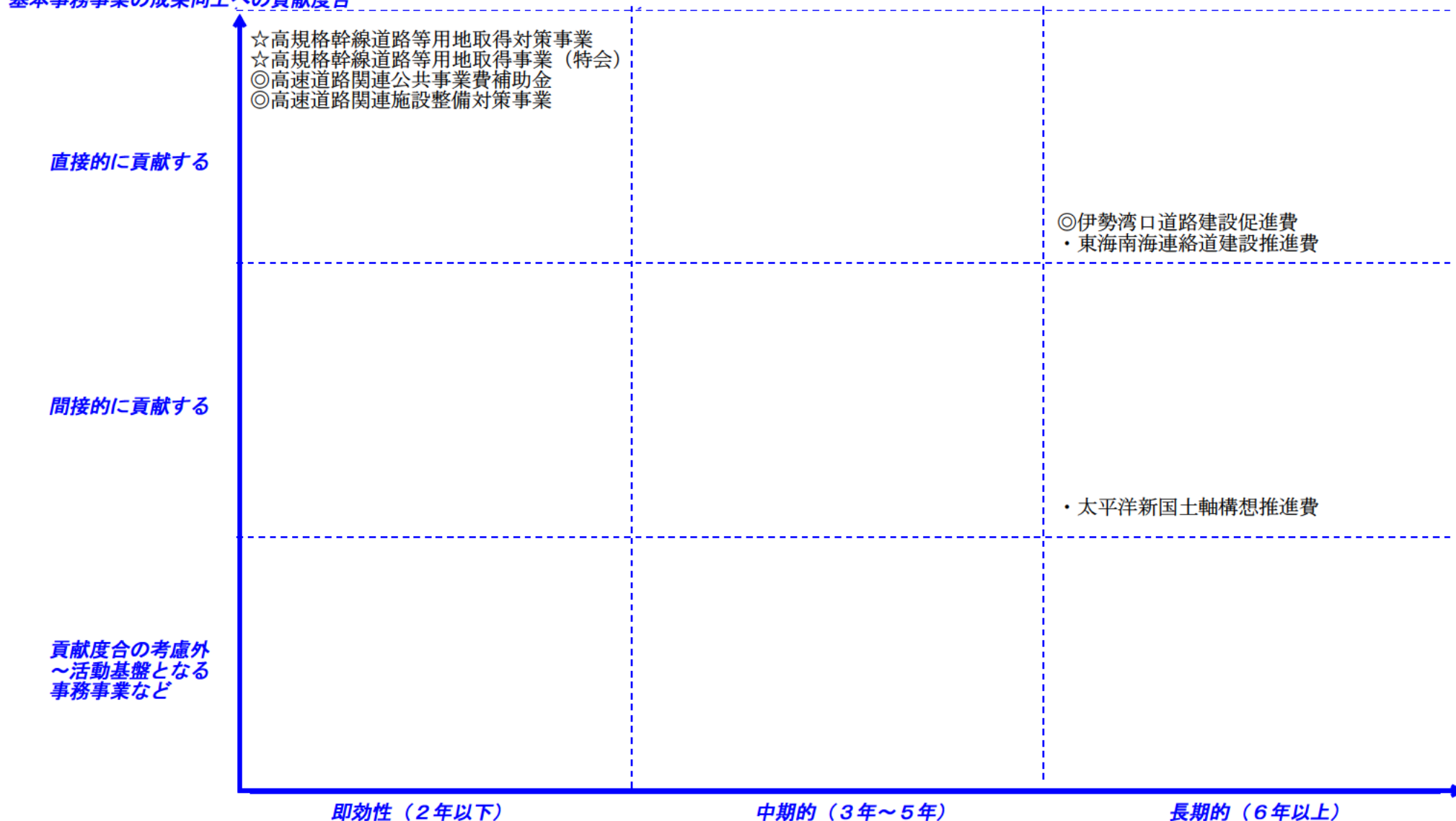
6 成果指標値及びコスト等の推移

	成果指標値		総合計画 目標数値	予算額等(千円)	
	目標	実績		所要時間(時間)	必要概算 コスト(千円)
前々年度 (H10年度)	149 / 298 0.5	149 / 298 0.5	1 4 9 k m	3,831,395 千円 156,260 時間	4,484,561 千円
前年度 (H11年度)	149 / 298 0.5	149 / 298 0.5	1 4 9 k m	6,050,159 千円 158,248 時間	6,706,888 千円
本年度 (H12年度)	149 / 298 0.5	149 / 298 0.5	1 4 9 k m	5,973,058 千円 156,950 時間	6,630,678 千円
本年度補正後 (H12年度)	149 / 298 0.5	149 / 298 0.5	1 4 9 k m	+ 29,525 千円 + 1,010 時間	+ 33,756 千円
翌年度 (H13年度)	149 / 298 0.5	———	1 4 9 k m	5,957,405 千円 156,950 時間	6,615,025 千円
計画目標年次 (H22年度)	205 / 298 0.69	———	2 0 5 k m	———	———

7 翌年度(H13年度)の基本事務事業における事務事業戦略プランシート(PPM：Project Portfolio Matrix)

〈必要概算コスト： ☆5億円以上 ◎～1億円 ◇～5千万 △～1千万 ・1千万未満 *休止・廃止〉

基本事務事業の成果向上への貢献度合



※ 各事務事業名の右に付した矢印は、それぞれの事務事業に対する力の入れ具合である「注力」の変化の方向を表している。

効果発現までの期間

8 基本事務事業を構成する事務事業の詳細
新規事務事業には、事務事業名に(新)を付す

事務事業名 (担当課)	成果指標名	事務事業の概要	13年度 予算額 (千円)	予算額 前年度比 (±千円)	13年度 所要時間 (時間)	所要時間 前年度比 (±時間)
高規格幹線道路等用地取得対策事業 (道路整備課)	高規格幹線道路網整備率	日本道路公団・建設省から用地事務を受託し、事業の迅速かつ円滑な遂行を図る	412,746	42,914	124,220	0
高速道路関連公共事業費補助金 (道路整備課)	"	高速道路に関連する市町村の道路・河川・公園事業に補助し、整備を促進する	300,000	25,000	1,200	0
高速道路関連施設整備対策事業 (道路整備課)	"	高速道路に関連し新たに整備が必要となる河川・砂防施設等を供用に合わせ整備	240,000	60,000	1,330	0
高規格幹線道路等用地取得事業 (道路整備課)	"	直轄事業先行取得用地の建設省への引渡しに伴う先行取得の用地費等の支払い	4,775,000	115,000	19,200	0
伊勢湾口道路建設促進費 (交通政策課)	——	現地調査の計画的な推進、地域連携共同調査等を行い、道路の早期実現を図る	222,496	52,767	6,140	0
東海南海連絡道建設推進費 (交通政策課)	——	県内同盟会、東海南海交流会議で建設気運の盛り上げ、交流・連携の強化	4,613	66	2,000	0
太平洋新国土軸構想推進費 (交通政策課)	——	早期実現に向けた「交流・連携」による気運の盛り上げ、効果的な情報収集	2,550	38	2,860	0